

創世記

創世記全体のテーマと流れ

天地創造	人類の罪	ノアの洪水	諸国民と言語の始まり	アブラハムの家族	ヨセフ、イスラエルの民
1章－2章	3章－4章	5章－9章	10章－11章	12章－38章	39章－50章

登場人物：アダム、イブ、ノア、アブラハム、イサク、ヤコブ、ヨセフ
(▶覚え方、アノ～、アブラ～イヤヨ)

43章前半のポイント

43章の前半ではヨセフの父ヤコブのストーリーが中心に記録されていました。飢饉が激しくなり、再度エジプトに行き食料を得る方法しかないヤコブの家族でした。しかし、その為には1つの重大な決断が必要でした。末っ子のベニヤミンをエジプトへ連れていかなければならないということです。父ヤコブにとって、ベニヤミンを手元から離すことは大きな恐れがあったはずですが、以前にも、最愛の子ヨセフを兄達に任せたところヨセフを失ってしまったからです(この時、父はヨセフは死んだと思っていた)。

しかし、父ベニヤミンは最大の決断を下します。全てを創造主に任せる決断をしたのです。自分の最愛のもの、最も大切にしている存在を自分の手から離す決断をしたのでした。この決断は後に、ヨセフの兄弟の和解をもたらす重大な決断となりました。

学びましょう

1. 43章16節～34節を読んでみましょう。

2. 43章16節～34節のポイントを把握してみましょう。

(1)不安か安心か(15～25節)

15節には一言「ヨセフの前に立った」と記録されています。いよいよヨセフの兄弟達はエジプトへ戻ってきました。そうすると、今度はヨセフの家に連れて行かれる事になります。普通なら偉い方の家に招かれたら嬉しい気持ちになりますが、ヨセフの兄弟達は違いました。18節では「彼らは、ヨセフの家に連れて行かれたので、大変恐れた」と記録されています。エジプトの国務長官の家に招かれるとは喜ぶべき・感謝すべき場所でしたが、彼らにとっては恐れでしかなかったのです。なぜなら、前回、エジプトを訪問した時には兄弟であるシメオンを拘束されてしまいました。またエジプトから帰る時に袋を見ると、払ったはずの代金そのまま入っていたからです。

しかし、ヨセフの計画は全く違うところにありました。彼らを家に招いて恐怖を与える事ではなく、彼らと交わり親しく時間を過ごす事が目的でした。

ここから何を考えることができるでしょうか。国務長官と正しい・良い関係でない時には、近くに行くことさえ恐怖になるという事です。私たちも同じだと言えるでしょう。創造主は私たちに礼拝に、いつも招いてくださいます。でも、創造主と正しい関係でない場合、その出会いの場である礼拝を恐れの間になりますし、楽しくない場になりますし、逆に苦痛の間となります。しかし、創造主はこの礼拝の場で、私たちに安心と親しい交わりを求めておられます。

(2)胸が熱くなるヨセフ

ヨセフは、カナン地の地から来た兄達を家へ招待します。24節には、水を出して口バに飼葉を与えるなど、当時の文化では正式なお客さんとして招かれた様子を見ることができます。22年もの間、ヨセフとその兄弟は面と向かって食事ができない関係でした。ヨセフが兄達から嫉妬を買ひ、エジプトの商人の元に売られ、そしてポティファルという高官の元に入りますが、そこでも冤罪をかけられ13年くらい監獄で過ごすことになりました。そのようにして関係も崩れ、まともに会話をすることができなかった関係でした。しかし、

今、ヨセフの目の前には、その兄弟達があり、特に自分の弟ベニヤミンの姿がありました。ヨセフがどれほど感動したか、感極まったかが如実に29～30節に記録されています。30節では「胸が熱くなり、涙をこらえるのが精一杯であった」と書かれていました。兄として何もしてあげられなかった自責の思いや弟に対する愛しさも込み上げてきたのでしょうか。この思いはヨセフの心(カマル)から起こった思いだとされています。このカマルには内臓・子宮・憐憫・愛情の意味が込められています。ヨセフは22年ぶりに会う弟に対して、言葉にできない心の底からの愛情や、お母さんが子宮の中で育つ子供に言葉にできない愛情を持つと同じように深い思いを持っていたことがわかります。

でも、同じように、この思いは創造主が私たちを思う思いと同じです。私たちに對して、この暖かい愛、深い愛の思いを持っておられます。

1. 教会と記念館の為

(1) ビジョン達成のために

- ①「創造をベースに、99%へ福音を」という教会のビジョンが、創造主によって祝福されますように。
- ②2021年度ビジョン「創造主を信じ、その大能の力によって強くして頂きなさい」の実現の為に。クリスチャン一人一人が、主に繋がり、主によって強められるように。

(2) 教会のため

- ①教会の本質的な働きー礼拝と伝道の働きの為
- ②教会の共同体の関係祝福のために
- ③教会の靈的成長・成熟のために
- ④地域との関係
- ⑤ユースの学び会の為に

(3) ノアの箱船記念館のため

- ①ノアの箱船記念館が伝道のために、クリスチャンの信仰形成の為に用いられます様に。
- ②ノアの箱船記念館の財政の祝福、ノアの歩道の為に

(4) 教役者のために①堀越葉満主事のため ②宮崎聖牧師家庭のため

2. 教会員の方々の為に

(1) 病にある方々の為に・平安があります様に

(2) 教会からしばらく離れている方の為

(3) 今月の祈禱課題の方々のために

3. 伝道と宣教の為

(1) 洗礼準備・聖書の学びをされている方々のため

(2) 受洗後の学びをされている

(3) 伴侶の救いの為

(4)

- ①レプトン
- ②ゴスペル・フラ
- ③卓レシア
- ④女性集会
- ⑤創愛クラブ
- ⑥クラフトカフェ
- ⑦ノア・パーク

(5) ログス・ホープ号乗船